防犯特集 子どもの安全は地域で守ろう

市内では、子どもに対する声かけ事案が後を絶ちません。声かけ事案は、誘拐事件やわいせつ事件のような凶悪事件に発展することも考えられます。子どもたちが安心して成長できる社会を築くためには、防犯の基本理念である「地域の安全は地域で守る」という連帯感の下、地域が一体となって子どもの安全を守ることが非常に重要です。

問　安心安全課（☎27－2706）

子どもが被害に遭わないために

不審者情報認知状況

伊勢崎警察署管内で子どもを狙った不審者情報認知件数は、1月から6月末までに49件発生し、前年同期比で28件のプラスです。この発生件数は県内で最も多い件数です。

子どもができること

●夜間の暗い所や人通りの少ない所では複数人で行動する

●不審者に後をつけられたり、車に乗るよう誘われたりした時は『**いかのおすし**』を思い出し、防犯ブザーを鳴らし、子ども安全協力の家や近くの大人などに助けを求める。

「**いか**ない」＝知らない人についていかない

「**の**らない」＝知らない人の車に乗らない

「**お**おごえでさけぶ」＝助けて！と、大きな声を出す

「**す**ぐにげる」＝怖いと感じたら大人のいる方にすぐ逃げる

「**し**らせる」＝どんな人が何をしたか家の人に知らせる

●携帯電話の操作や音楽の視聴をしながら歩かず、周囲に気を配る

●防犯ブザーはすぐ使える箇所に着け、使い方の練習もしておく

地域の大人ができること

●自宅付近や通学路などで高い塀に囲まれた路地や人けのない駐車場、樹木で見通しの悪い公園、男女同じ出入り口の公衆トイレ、民家から離れた空き地など、犯罪者や不審者が入りやすく周囲から見えにくい場所に目を光らせる

●防犯パトロールや見守り活動に参加する

●日常の買い物や犬の散歩などを行いながら子どもたちを見守る『**ながら見守り活動**』を実施する

●あいさつ運動で地域の連帯を強める

※犯人や不審者はあいさつをされるなど声をかけられることを嫌います

本市の主な刑法犯認知件数（本年７月末現在）

	件数	前年同月比
群馬県	9,317件	＋1,006件
伊勢崎市	1,248件	－105件
空き巣	**63件**	**＋37件**
忍込み	11件	－１件
居空き	２件	＋２件
自動車盗	54件	＋16件
自転車盗	190件	－32件
オートバイ盗	37件	－８件
器物損壊等	87件	＋２件
車上狙い	61件	－16件
自販機狙い	９件	＋１件
ひったくり	１件	＋１件
コンビニ強盗	０件	－１件

その他主な市内の治安情勢

本年７月末現在、市内の刑法犯認知件数は左表のとおりです。空き巣被害が前年同月比プラス37件と大きく増加傾向です。

空き巣の防止対策　空き巣被害の多くは、鍵がかかっていない箇所からの侵入や窓ガラスを割っての侵入によるものです。被害防止の基本は「鍵をかける」ことです。在宅中でも、玄関や勝手口などに必ず鍵をかけてください。旅行などで長期間不在にする時は、留守を悟られないように新聞や郵便物を一時止める手続きをしましょう。万が一、侵入されても被害を最小限にとどめるために**多額の現金を家に置かない、通帳と印鑑は別々に保管する**ことを心がけましょう。

さまざまな犯罪における防止対策

インタビュー

Q　本市では現在どのような犯罪が増えていますか。

A　自宅などに保管していた**タイヤが盗まれる**ことが増えています。その他にも**自動車盗**や**空き巣**などの被害件数が増加しています。

Q　被害に遭わないためにはどのようなことに気を付けたら良いですか。

A　**タイヤ盗の対策**は、タイヤを倉庫などに入れて、**外から見えないように保管すること**が望ましいです。自宅に倉庫がない場合には、鉄製のチェーンでタイヤ同士をつなげ、犯人が運びづらい状態にしておくと良いでしょう。**自動車盗の対策**は、ハンドルロックなどを使い、**車を動かせないようにすること**が重要です。犯人は車を盗んだ後にナンバープレートを取り外すことがあるため、事前にロックボルトを装着しておくと良いでしょう。**空き巣の対策**は**しっかりと鍵をかけること**が重要です。加えて、窓やドアの防犯性能を高めることも効果的です。タイヤ盗や自動車盗、空き巣の対策の他にも**さまざまな犯罪の対策方法が、群馬県HPの「防犯ハンドブック」の中に掲載**されています。この機会に一度、自宅に合った防犯対策を確認・検討してもらえたらと思います。

Q　市内における特殊詐欺被害の現状はどのようなものですか。

A　本年６月末で、昨年と比べて件数に大きく変化はありませんが、被害額は増加しています。手口としては、親族などになりすます**オレオレ詐欺**や実際には支払う必要のない料金を請求する**架空料金請求詐欺**が多く見られます。さらに、**SNSを悪用した投資詐欺やロマンス詐欺**の被害も増えています。

Q　特殊詐欺はどのような人が被害に遭っていますか。

A　年齢的にも幅広く、多くの人が被害に遭っています。特定の年代や性別が被害に遭うものとはいえないため、**誰もが被害に遭う可能性があると考えること**が重要です。

Q　特殊詐欺に遭わないためにはどのような対策をしたら良いですか。

A　少しでも怪しいと感じたら、家族や警察に相談してください。また、**必ず儲かる、少額でも利益が出る、すぐに手続きが必要などのキーワードが出たら十分に注意が必要**です。

防犯情報のメール配信サービス

空メールを送信して登録してください。

上州くん安全・安心メール
防犯や交通などの情報を配信しています。
✉t-gunma-police@sg-p.jp

いせさき情報メール
地域の防犯情報などを配信しています。
✉t-isesaki@sg-p.jp

特殊詐欺被害防止のための電話機対策を行っています

市では、特殊詐欺に遭う危険性の高い高齢者を守るため、自動通話録音装置の貸し出しや電話機などの購入費の一部補助を行っています。詳しくは問い合わせてください。

問　高齢政策課（☎27－2752）

【特殊詐欺対策自動通話録音装置の貸与】

貸与期間　貸与開始から１年間
※貸与期間終了後に再貸与することも可能

対　65歳以上の高齢者のみの世帯で緊急通報装置を利用していない人

¥　無料

申　申請書に必要事項を記入の上、直接高齢政策課または各支所市民サービス課へ
※申請書は高齢政策課または各支所市民サービス課にあります。市HPからダウンロードもできます

▲市HP

【特殊詐欺対策電話機等購入費の補助】

対　60歳以上の高齢者のみの世帯

補助金額　購入金額の２分の１
※上限額は5,000円です